

しん プラチナ社会」の実現を目指して、限られた財源を有効に活用して効率的かつ効果的な財政運営に努めるとともに、将来にわたって安定的な行政運営を確保できる健全な財政状況の維持に取り組みたい。

山梨県告示第百四十三号

平成二十七年十二月定例県議会において認定された平成二十六年山梨県公営企業会計の決算及び当該決算に係る監査委員の意見は、次のとおりである。

平成二十七年十二月二十八日

山梨県知事 後 藤 斎

- 1 決算の認定に係る議会の議決 認定
- 2 山梨県営電気事業

平成26年度 山梨県営電気事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出  
収 入

区 分	予 算		地方公営企業法第24条第3項の支出額に充てる財源	第11条第1項の規定に係る当額	合 計	決 算 額	予算額に比 べ決算額の 増 減	備 考
	当初予算額	補正予算額						
第1款 電気事業収益	4,350,973,000	0	0	0	4,350,973,000	4,212,072,900	△ 138,900,100	
第1項 営業収益	3,750,768,000	0	0	0	3,750,768,000	3,754,411,988	3,643,988	(うち仮受消費税及び地方消費税 277,892,994円)
第2項 財務収益	12,117,000	0	0	0	12,117,000	13,365,467	1,248,467	
第3項 事業外収益	186,605,000	0	0	0	186,605,000	131,105,625	△ 55,499,375	" 2,803,543円)
第4項 特別利益	401,483,000	0	0	0	401,483,000	313,189,820	△ 88,293,180	" 16,413円)

支 出

予 算	額	翌年度繰越額





<b>3 財務収利益</b>			
(1) 受取利息	13,365,467	13,365,467	
<b>4 事業外収益</b>			
(1) 電力料	28,500,709		
(2) 長期前受金戻入	75,797,594		
(3) 雑収	23,996,479		
(4) 消費税及び地方消費税還付金	7,300	128,302,082	
<b>5 財務費用</b>			
(1) 支払利息	42,067,225	42,067,225	
<b>6 事業外費用</b>			
(1) 事業外固定資産管理費	88,111,948		
(2) 雑損	2,133,068	90,245,016	9,355,308
経常利益			741,416,721
<b>7 特別利益</b>			
(1) 固定資産売却益	205,171		
(2) その他特別利益	312,968,236	313,173,407	
<b>8 特別損失</b>			
(1) 固定資産売却損	36,175		
(2) その他特別損失	307,593,835	307,630,010	5,543,397
当年度純利益			746,960,118
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			788,738,383
当年度未処分利益剰余金			1,535,698,501

## 平成26年度 山梨県営電気事業剰余金計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金		剰余金					利益剰余金			資本合計				
	自己資本	借入資本	受贈財産 評価額	工事負担金	補助金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	減債積立金	利益積立金	建設改良 積立金		中小水力発電 開発改良積立金	地域文化振興・環境 保全積立金	未処分 利益剰余金	利益剰余金 合計
前年度末残高	24,703,378,823	1,460,734,470	236,256,058	56,467,179	1,325,865,580	584,766,026	2,203,354,843	1,460,734,470	103,377,000	2,116,256,781	2,457,210,705	818,296,573	515,137,751	7,471,013,280	35,838,481,416
前年度処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	26,000,000	338,137,751	18,000,000	133,000,000	△515,137,751	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	26,000,000	338,137,751	18,000,000	133,000,000	△515,137,751	0	0
利益積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△26,000,000	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	338,137,751	0	0	△338,137,751	0	0
中小水力発電開発改良積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,000,000	0	△18,000,000	0	0
地域文化振興・環境保全積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133,000,000	0	△133,000,000	0	0
処分後残高	24,703,378,823	1,460,734,470	236,256,058	56,467,179	1,325,865,580	584,766,026	2,203,354,843	1,460,734,470	123,377,000	2,454,394,532	2,475,210,705	951,296,573	0	7,471,013,280	35,838,481,416
当年度変動額	0	△1,460,734,470	△233,569,189	△54,759,300	△1,325,865,580	△581,730,826	△2,195,924,895	△211,861,132	0	△171,620,862	0	△478,531,367	1,535,698,501	673,685,140	△2,982,974,225
会計制度見直しに伴う振替	0	△1,460,734,470	△233,569,189	△54,759,300	△1,325,865,580	△581,730,826	△2,195,924,895	0	0	0	0	0	42,246,022	42,246,022	△361,441,343
企業債の償還	0	0	0	0	0	0	0	△211,861,132	0	0	0	0	211,861,132	0	0
建設改良積立金の振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△171,620,862	0	0	171,620,862	0	0
地域文化振興・環境保全積立金の振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△378,531,367	363,010,367	△15,521,000	△15,521,000
一般会計への繰出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△100,000,000	0	△100,000,000	△100,000,000
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	746,960,118	746,960,118	746,960,118
当年度末残高	24,703,378,823	0	268,689	1,707,879	0	303,520	7,429,948	12,483,733	123,377,000	2,282,773,670	2,475,210,705	472,765,206	1,535,698,501	8,144,698,420	32,855,507,191

平成26年度 山梨県営電気事業剰余金処分計算書

(単位：円)

資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
-----	-------	----------

当年度末残高	24,703,378,823		7,429,948		1,535,698,501
議会の議決による処分額	746,492,361	△	7,242,078	△	1,535,698,501
利益積立金の積立	0	0	0	△	150,000,000
建設改良積立金の積立	0	0	0	△	361,206,140
中小水力発電開発改良積立金の積立	0	0	0	△	18,000,000
地域文化振興・環境保全積立金の積立	0	0	0	△	260,000,000
減債積立金からの組入	211,861,132	0	0	△	211,861,132
建設改良積立金からの組入	171,620,862	0	0	△	171,620,862
地域文化振興・環境保全積立金からの組入	363,010,367	0	0	△	363,010,367
除却損への補てん	0	△	7,242,078		0
処分後残高	25,449,871,184		187,870	(繰越利益剰余金)	0

除却損への補てん 7,242,078 円については、工事負担金等により取得した資産で、既に除却済みのものを、資本剰余金から減額するものである。

### 平成26年度 山梨県営電気事業貸借対照表

(平成27年3月31日)

(単位：円)

#### 資 産 の 部

#### 1 固 定 資 産

(1) 電気事業固定資産	
イ 水力発電設備	41,982,509,339
減価償却累計額	△ 28,226,780,587
口 送電設備	40,524,276
減価償却累計額	△ 31,134,899
ハ 業務設備	258,931,386

13,755,728,752

9,389,377

減価償却累計額	△ 173,985,888	84,945,498	
電気事業固定資産合計			13,850,063,627
(2) 事業外固定資産	2,031,886,499		
減価償却累計額	△ 354,966,525	1,676,919,974	
事業外固定資産合計			1,676,919,974
(3) 投資その他の資産			
ノ長期貸付金		6,399,539,358	
ロ長期前払費用		324,240	
ハその他投資		100,000,000	
投資その他の資産合計			6,499,863,598
固定資産合計			22,026,847,199
2 流動資産			
(1) 現金預金			14,948,584,265
(2) 未収金			322,575,335
(3) 貯蔵品			4,345,769
(4) 短期貸付金			70,502,234
(5) 前払費用			239,400
(6) 前払金			355,466,400
流動資産合計			15,701,713,403
資産合計			37,728,560,602
負債			
3 固定負債			
(1) 企業債			1,081,476,322
ノ建設改良等の財源に充てるため			1,081,476,322
(2) リリース債務			4,396,000
負債の部			1,081,476,322

(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	904,181,361		
ロ 特別修繕引当金	690,834,000		
引当金合計		1,595,015,361	
(4) その他固定負債		100,000,000	
<b>固定負債合計</b>			<b>2,780,887,683</b>
<b>4 流動負債</b>			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	167,397,016	167,397,016	
(2) リリース債務		1,884,000	
(3) 未払金		203,252,795	
(4) 未払費用		2,149,202	
(5) 引当金			
イ 退職給付引当金	2,332,800		
ロ 賞与引当金	65,951,278		
ハ 修繕引当金	438,904,339		
引当金合計		507,188,417	
(6) その他の流動負債		339,146	
<b>流動負債合計</b>			<b>882,210,576</b>
<b>5 繰延収益</b>			
長期前受金	1,284,422,374		
収益化累計額	△ 74,467,222		
繰延収益合計			<b>1,209,955,152</b>
<b>負債合計</b>			<b>4,873,053,411</b>
<b>6 資本金</b>			<b>24,703,378,823</b>
		<b>資本の部</b>	



7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金  
 イ 受贈財産評価額 2,686,869  
 ロ 工事負担金 1,707,879  
 ハ その他資本剰余金 3,035,200  
 資本剰余金合計 7,429,948

(2) 利 益 剰 余 金  
 イ 減 債 積 立 金 1,248,873,338  
 ロ 利 益 積 立 金 129,377,000  
 ハ 建設改良積立金 2,282,773,670  
 ニ 中小水力発電開発改良積立金 2,475,210,705  
 ホ 地域文化振興・環境保全積立金 472,765,206  
 ヘ 当年度未処分利益剰余金 1,535,698,501  
 利益剰余金合計 8,144,698,420

剰 余 金 合 計 32,855,507,191  
 資 本 合 計 37,728,560,602  
 負 債 資 本 合 計

3 山梨県営温泉事業

平成26年度 山梨県営温泉事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出  
 収 入

区 分	予 算			合 計	決 算 額	予算額に比 へ決算額の増	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規程による財源				
	円	円	円	円	円	円	

第1款 温泉事業収益	153,489,000	0	0	153,489,000	163,654,736	10,165,736	(うち仮受消費税及び地方消費税 11,089,794円)
第1項 営業収益	143,743,000	0	0	143,743,000	154,540,650	10,797,650	
第2項 営業外収益	9,736,000	0	0	9,736,000	9,114,086	△ 621,914	( " 33,500円)
第3項 特別利益	10,000	0	0	10,000	0	△ 10,000	

支出

区分	算				額		翌年度繰越額			不用額	備考			
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条の2による支出	地方公営企業法第26条の2による繰越額	継続費次繰越額	合計	決算額			地方公営企業法第26条の2による繰越額	継続費次繰越額	合計
第1款 温泉事業費用	166,178,000	0	0	0	0	374,760	300,000	166,852,760	135,961,077	0	21,911,000	21,911,000	8,980,683	(うち仮払消費税及び地方消費税 2,332,216円)
第1項 営業費用	161,132,000	0	0	△5,370,600	0	155,761,400	300,000	156,436,160	127,074,482	0	21,911,000	21,911,000	7,450,678	
第2項 営業外費用	884,000	0	0	5,370,600	0	6,254,600	0	6,254,600	6,234,600	0	0	0	20,000	
第3項 特別損失	3,162,000	0	0	0	0	3,162,000	0	3,162,000	2,651,995	0	0	0	510,005	
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収入

区分	算			額		合計	決算額	予へ増	算決算額に比の減	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に相当する財源	継続費次繰越に係る財源					
第1款 資本的収入	10,000	0	10,000	0	0	10,000	10,000	0	△10,000	
第1項 固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0	0	10,000	10,000	0	△10,000	



経常利益  
5 特別損失

(1) その他特別損失	2,651,995	2,651,995	27,787,537
当年度純利益			
前年度繰越利益剰余金		25,135,542	0
その他未処分利益剰余金変動額		64,872,680	
当年度未処分利益剰余金		90,008,222	

平成26年度 山梨県営温泉事業剰余金計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	剰余金							資本合計		
		受贈財産 評価額	資本剰余金 合計	利益剰余金	利益剰余金 合計	未処分利益剰余金	利益剰余金 合計	資本合計			
前年度末残高	1,045,575,716	1,496,814	125,000	389,242,091	390,863,905	88,136,879	88,464,506	4,300,000	110,579,895	291,481,280	1,727,920,901
前年度処分額	0	0	0	0	0	0	110,579,895	0	△110,579,895	0	0
議会の議決による処分	0	0	0	0	0	0	110,579,895	0	△110,579,895	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0	0	0	0	110,579,895	0	△110,579,895	0	0
処分後残高	1,045,575,716	1,496,814	125,000	389,242,091	390,863,905	88,136,879	199,044,401	4,300,000	0	291,481,280	1,727,920,901
当年度変動額	0	△ 1,466,000	△ 125,000	△389,242,091	△390,833,091	0	△ 2,231,650	0	90,008,222	87,776,572	△303,056,519
会計制度見直しに伴う振替	0	△ 1,466,000	△ 125,000	△389,242,091	△390,833,091	0	0	0	62,641,030	62,641,030	△328,192,061
建設改良積立金の振替	0	0	0	0	0	0	△ 2,231,650	0	2,231,650	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	25,135,542	25,135,542	25,135,542
当年度末残高	1,045,575,716	30,814	0	0	30,814	88,136,879	196,812,751	4,300,000	90,008,222	379,257,852	1,424,864,382

## 平成26年度 山梨県営温泉事業剰余金処分計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	1,045,575,716	30,814	90,008,222
議会の議決による処分額	2,231,650	△ 30,814	△ 90,008,222
建設改良積立金からの組入	2,231,650	0	△ 2,231,650
建設改良積立金の積立	0	0	△ 87,776,572
除却損への補てん	0	△ 30,814	0
処分後残高	1,047,807,366	0	(繰越利益剰余金) 0

除却損への補てん 30,814 円については、補助金により取得した資産で、既に除却済のものを、資本剰余金から減額するものである。

## 平成26年度 山梨県営温泉事業貸借対照表

(平成27年 3月31日)

(単位：円)

### 資産の部

1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地	66,984,312	79,472,497
ロ 建物	△ 42,296,547	24,687,765
ハ 構築物	1,431,290,271	
ニ 減価償却累計額	△ 764,061,351	667,228,920
ホ 機械装置	151,131,031	
ヘ 減価償却累計額	△ 130,222,713	20,908,318

ホ 備 品	4,441,558		
ハ 減価償却累計額	<u>△ 4,167,347</u>		
ト 建設仮勘定		274,211	
有形固定資産合計		36,339,190	
		<u>19,512,263</u>	
(2) 無形固定資産			848,423,164
イ 電話加入権		80,500	
ロ その他無形固定資産		<u>1,638,454</u>	
無形固定資産合計			1,718,954
(3) 投資その他の資産			
イ 長期前払費用		28,280	
ロ 破産更生債権等		8,082,466	
ハ その他投資		200,000	
ニ 貸倒引当金		<u>△ 8,082,466</u>	
投資その他の資産合計			<u>228,280</u>
固定資産合計			<u>850,370,398</u>
2 流動資産			
(1) 現金預金		673,337,268	
(2) 未収金		24,417,653	
(3) 貸倒引当金		<u>△ 2,156,325</u>	
(4) 貯蔵品		270,752	
(5) 前払費用		889	
(6) 前払金		58,430,000	
(7) その他流動資産		<u>515</u>	
流動資産合計			<u>754,300,752</u>
資産合計			<u><u>1,604,671,150</u></u>

負債の部

3 固定負債

(1) その他固定負債

400,000

400,000

4 流動負債

(1) 未払費用

14,000,723

339

(2) 未払費用

2,849,744

(3) 引当金

12,446,834

15,296,578

6,367,876

35,665,516

(4) その他流動負債

流動負債合計

5 繰延収益

長期前受計金額

151,239,864

繰延収益合計

△ 7,498,612

143,741,252

繰延収益合計

179,806,768

資本の部

1,045,575,716

6 資本金

(1) 資本金

30,814

受贈財産評価額

30,814

(2) 利益剰余金

88,136,879





第1款 地域振興事業費用	166,389,000	0	0	0	0	0	0	0	0	166,389,000	477,195	158,476,711	0	8,389,484	(うち仮払消費税 及び地方消費税 678,918円)
第1項 営業費用	152,750,000	0	0	0	0	0	0	0	0	152,750,000	477,195	146,869,262	0	6,357,933	
第2項 営業外費用	12,629,000	0	0	0	0	0	0	0	0	12,629,000	0	11,607,449	0	1,021,551	( 1,139円)
第3項 特別損失	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0	0	10,000	
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収入

区分	予算額				決算額		予算額に比 ずべ決算額の増減	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	小計	合計	合計		
第1款 資本的収入	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	△ 10,000	
第1項 固定資産売却代金	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	△ 10,000	

支出

区分	予算額				決算額		翌年度繰越額		不用額	備考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小計	小計	合計	合計	合計		
第1款 資本的支出	76,496,000	0	0	76,496,000	2,060,805	78,556,805	0	2,890,244		
第1項 地域振興事業費	5,000,000	0	0	5,000,000	2,060,805	7,060,805	0	1,889,428	(うち仮払消費税 及び地方消費税 383,066円)	
第2項 他会計借入金償還金	70,496,000	0	0	70,496,000	0	70,496,000	0	816		
第3項 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000		

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 75,666,561 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 383,066 円、過年度分損益勘定留保資金 15,095,909 円及び当年度分損益勘定留保資金 60,187,586 円で補てんした。

## 平成26年度 山梨県営地域振興事業損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

<b>1 営業収益</b>					
(1) 丘の公園事業収益		150,002,603		150,002,603	
<b>2 営業費用</b>					
(1) 丘の公園維持管理費		146,190,344		146,190,344	
営業利益					3,812,259
<b>3 営業外収益</b>					
(1) 受取利息		9,616			
(2) 長期前受金戻入		3,308,550			
(3) 雑収		67,585		3,385,751	
<b>4 営業外費用</b>					
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費		606,384			
(2) 雑支出		60,426		666,810	
経常利益					6,531,200
当年度純利益					6,531,200
前年度繰越欠損金					3,532,097,902
当年度未処理欠損金					3,525,566,702

## 平成26年度 山梨県営地域振興事業欠損金計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金		剰余金		利益剰余金		資本合計
	自己資本金	借入資本金	資本剰余金合計	未処理欠損金	利益剰余金合計		
前年度未残高	25,000,000	3,365,950,135	96,600,000	7,455,531	104,055,531	△ 3,532,097,902	△ 37,092,236

前年度処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処分後残高	25,000,000	3,365,950,135	96,600,000	7,455,531	104,055,531	△ 3,532,097,902	△ 3,532,097,902	△ 3,456,018,935	△ 37,092,236
当年度変動額	0	△ 3,365,950,135	△ 96,600,000	0	△ 96,600,000	6,531,200	6,531,200	△ 3,462,550,135	△ 3,462,550,135
会計制度見直しに伴う振替	0	△ 3,365,950,135	△ 96,600,000	0	△ 96,600,000	0	0	△ 3,462,550,135	△ 3,462,550,135
当年度純利益	0	0	0	0	0	6,531,200	6,531,200	6,531,200	6,531,200
当年度末残高	25,000,000	0	0	7,455,531	7,455,531	(当年度未処理欠損金) △ 3,525,566,702	△ 3,525,566,702	△ 3,493,111,171	△ 3,493,111,171

平成26年度 山梨県営地域振興事業欠損金処理計算書

(単位：円)

資本金	25,000,000	7,455,531	7,455,531	△ 3,525,566,702
資本剰余金	0	0	0	0
未処理欠損金	25,000,000	7,455,531	7,455,531	(繰越欠損金) △ 3,525,566,702
当年度末残高	25,000,000	7,455,531	7,455,531	△ 3,525,566,702
議会の議決による処分額	0	0	0	0
処分後残高	25,000,000	7,455,531	7,455,531	△ 3,525,566,702

平成26年度 山梨県営地域振興事業貸借対照表

(平成27年3月31日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産	5,790,934
(1) 有形固定資産	5,790,934
イ 土地	2,336,976,900
ロ 建物	△ 1,542,802,282
ハ 構築物	3,950,498,857
ニ 減価償却累計額	△ 2,341,619,491
ホ 減価償却累計額	1,608,879,366

二 機械装置	798,788,548		
減価償却累計額	△ 736,762,881		62,025,667
備品	119,448,305		
減価償却累計額	△ 112,002,530		7,445,775
有形固定資産合計			2,478,316,360
(2) 無形固定資産			
イ 電話加入権		2,249,600	
ロ その他無形固定資産		99,550	
無形固定資産合計			2,349,150
固定資産合計			2,480,665,510
2 流動資産			
(1) 現金預金		39,363,685	
(2) 未収金		51,000	
(3) 貯蔵品		1,373,738	
流動資産合計			40,788,423
資産合計			2,521,453,933
3 固定負債			
(1) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		3,276,518,853	
ロ その他の長期借入金		2,642,020,505	
他会計借入金合計			5,918,539,358
固定負債合計			5,918,539,358
4 流動負債			
(1) 他会計借入金			

負債の部

イ	建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	44,717,877		
ロ	その他の長期借入金	25,784,357		
	他会計借入金合計		70,502,234	
(2)	未払金		6,506,070	
(3)	引当金			
	イ 修繕引当金	14,187,442		
	引当金合計		14,187,442	
	流動負債合計			91,195,746
5	繰延収益			
	長期前受金		8,138,550	
	収益化累計額		△ 3,308,550	
	繰延収益合計			4,830,000
	負債合計			6,014,565,104
6	資本金			25,000,000
7	剰余金			
(1)	資本剰余金	7,455,531	7,455,531	
	イ 寄附金			
	資本剰余金合計			
(2)	利益剰余金	3,525,566,702	△3,525,566,702	
	イ 当年度未処理欠損金			
	利益剰余金合計			△3,518,111,171
	剰余金合計			△3,493,111,171
	資本金合計			2,521,453,933
	負債資本合計			

資本の部

5 監査委員の意見

平成27年8月11日

山梨県知事 後 藤 齋 殿

山梨県監査委員 小 野 浩  
同 小 泉 司  
同 白 壁 久  
同 高 木 賢 晴  
同 雄

平成26年度山梨県公営企業会計の決算審査について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、平成26年度山梨県公営企業会計の決算について、審査の結果次のとおり意見書を提出します。

I 審査の対象

平成26年度 山梨県営電気事業会計  
平成26年度 山梨県営温泉事業会計  
平成26年度 山梨県営地域振興事業会計

II 審査の期間

平成27年7月13日から平成27年8月10日まで

III 審査の手續

平成26年度山梨県公営企業会計の決算審査にあたっては、各事業が地方公営企業法その他関係法令に基づいて、常に経済性を発揮し、本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営されているか、決算書類が経営成績及び財政状態を適正に表示しているか等について検証するため、決算書、決算附属書類、諸帳簿、証拠書類等について照査し、関係職員から説明を求め、さらに定例監査及び例月現金出納検査の結果を参考にするともに、会計処理の基準及び手續きが、改正された地方公営企業会計基準(以下「新会計基準」という。)を適用しているかという点に留意し、審査を行った。

IV 審査の結果及び意見並びに決算の概要

各事業会計の審査の結果及び意見並びに決算の概要は、それぞれの会計において述べるとおりである。なお、平成24年1月に公布された地方公営企業法施行令をはじめとする関係法令の改正による新会計基準が、平成26年度の予算、決算から適用されているため、本書における平成25年度以前の決算計数や経営分析については、従前の会計基準によるものであることに留意されたい。

(1) 平成26年度山梨県営電気事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って概ね良好に運営されているものと認められる。

特に、平成26年度決算は、新会計基準が適用される初年度の決算であるため、年度当初に行われた新会計基準への移行処理は適正であるか、また、会計処理の基準及び手続きが新会計基準を適用しているか、という点に留意し審査するとともに、新会計基準の適用による決算への影響について、詳細に分析を行った。

なお、新会計基準を適用し、借入資本の負債への計上、みなし償却制度の廃止及びキャッシュ・フロー計算書の作成などを行ったことにより、経営状況の透明性の確保が図られ、的確な財務情報を把握できるようになった。

会計基準見直しの趣旨は、地方公営企業の経営状況の透明性を確保することなどであるため、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の公表については、県民にわかりやすい情報の提供と、ていねいな説明を行うことが求められている。今後、決算概要の公表にあたっては、こうした趣旨が活かされるよう決算の分析内容を含め、資料の作成に配慮されたい。

## 1 経営状況について

平成26年度の経営状況は、7億4,696万118円の純利益を上げている。前年度に比べ2億3,182万2,367円の増となっており、総収支比率は123.5%、経常収支比率は125.8%であり、健全な経営に努めていると認められる。

当年度純利益が前年度より増加した要因は、電力料収益が8,421万9,610円増加したことや、今年度から、米倉山実証試験用太陽光発電施設の電力料収入2,763万2,560円が計上されたことによるものである。また、経常収益が増加した要因は、新会計基準を適用したことにより、みなし償却制度が廃止され、資本剰余金に計上されていた補助金等について、収益化が図られ、平成26年度の減価償却費に見合う金額を事業外収益の長期前受金戻入として7,579万7,594円計上したことによるものである。

電力料収益の増加は、平成26年2月の記録的な大雪の雪解けや定期的にとまとった降雨により、安定的な発電量が確保されたことや、小水力発電所として、平成26年9月に運用を開始した大城川発電所の電力容量が増加したことにより、供給電力容量が前年度比115.4%と増加したことによるものである。

今後の経営にあたっては、施設の老朽化が進む既存発電所の改良や修繕を引き続き計画的に進め、効率的な経営に努めるとともに、「自立・分散型エネルギー社会」の構築に向け、エネルギー局との連携を密にし、水力発電による電力の安定供給と併せて、小水力発電及び太陽光発電等の開発と普及促進を通じて、クリーンエネルギーの推進に一層努力されたい。

## 2 財政状態について

平成26年度の財政状態は、自己資本構成比率が87.1%、固定資産村長期資本比率が61.8%、概ね前年度並みを維持している。

流動比率については、未払金の増加に加え、新会計基準を適用したことにより、1年以内に償還期限の到来する企業債、計上要件の見直しによる引当金及びリース債務を流動負債に計上したことから、1,779.8%と前年度と比較して大幅に低下したものの、いずれの比率も健全な水準を確保している。

今後とも経営の健全性を確保するため、積立金の計画的な積み立てと適切な管理を行うなど、資本の充実に努め、財政基盤の強化を図り、安定的な事業経営に努められたい。

なお、新会計基準を適用し、退職給付引当金を計上したが、一般会計と地方公営企業会計の負担区分が曖昧であった。このため、今後は、対象職員の負担区分を明確化した上で、計上するよう留意されたい。

## 3 キャッシュ・フローの状況について

平成26年度から作成が義務付けられたキャッシュ・フロー計算書の結果をみると、業務活動により確保した資金の増加は16億2,205万3,640円であり、投資活動として有形固定資産の取得等に10億3,191万7,635円を支出、また、財務活動として企業債の償還等に2億1,374万5,132円を支出しており、平成26年度中の資金増加額は3億7,639万873円となっている。

投資活動及び財務活動に係る支出は、業務活動により確保された資金の範囲内で行われており、資金繰りは安定した状況にある。また、平成26年度末の企業債残高は、当年度中の業務活動によるキャッシュ・フローの範囲内であり、債務償還能力についても特に問題ないものと言える。

将来的な発電施設の開発や改良等に適時適切に対応できるよう、財政の健全性を維持し、財政基盤の強化に一層計画的に努められたい。

なお、平成26年度期末において、149億4,858万4,265円の資金を有していることから、県公金管理・運用方針を踏まえ、確実かつ有利な方法を基本とする中で、より積極的に運用するなど、各種施策の推進に必要な財源の確保に努められたい。

#### 4 経営課題について

企業局は、卸供給事業者として一般電気事業者である東京電力株式会社との間で、平成21年度から平成35年度までの電力受給基本契約を締結し、電力供給を行っている。平成26年6月に改正電気事業法が成立し、平成28年4月から、電気の小売業への参入の全面自由化と電気事業類型の見直しによる事業区分に応じた規制体系の移行が図られるなど、公営電気事業を取り巻く環境は大きく変化している。

こうした中、大城川発電所の電力受給について、一般競争入札を初めて導入し、落札した新電力会社との契約に基づき、平成26年9月から電力供給を開始している。今後、国の電力自由化に関する具体的制度の行方と、新規参入事業者や太陽光発電に関する社会的動向を注視しつつ、電気事業者としての電気事業類型について方針を定めるなど、将来を見据えた具体的な検討に努められたい。

なお、地域振興事業に対する長期貸付金については、平成26年度に7,049万円余が返済されたものの、その残高は、当年度純利益の8倍超に相当する59億8,904万円余と依然として多額である。長期貸付金については、残高の削減と併せ、回収期間の短縮が図られるよう対応されたい。

#### (2) 平成26年度山梨県営温泉事業会計

##### 審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って概ね良好に運営されているものと認められる。

特に、平成26年度決算は、新会計基準が適用される初年度の決算であるため、年度当初に行われた新会計基準への移行処理は適正であるか、また、会計処理の基準及び手続きが新会計基準を適用しているか、という点に留意し審査するとともに、新会計基準の適用による決算への影響について、詳細に分析を行った。

なお、新会計基準を適用し、みなし償却制度の廃止及びキャッシュ・フロー計算書の作成などを行ったことにより、経営状況の透明性の確保が図られ、的確な財務情報を把握できるようになった。

会計基準見直しの趣旨は、地方公営企業の経営状況の透明性を確保することなどであるため、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の公表については、県民にわかりやすい情報の提供と、ていねいな説明を行うことが求められている。今後、決算概要の公表にあたっては、こうした趣旨が活かされるよう決算の分析内容を含め、資料の作成に配慮されたい。

#### 1 経営状況について

平成26年度の経営状況は、温泉管理費が1,070万9,810円増加したものの、給湯量の増加に伴い温泉供給収益が319万1,881円増加したこと及び新会計基準を適用したことにより、みなし償却制度が廃止され、資本剰余金に計上されていた工事負担金等について、平成26年度の減価償却費に見合う金額を長期前受金戻入として811万4,406円計上したことから、経常収益は1億5,253万1,442円と前年度に比べ1,118万6,877円増加したが、経常収支比率は122.3%と前年度に比べ1.6ポイント低下している。

また、総収支比率は119.7%で前年度に比べ77.3ポイント低下している。これは昨年度、配湯管の耐用年数を見直し、過年度の過大に計上された減価償却費の修正を行ったことにより、過年度損益修正益として8,327万3,003円を計上したことによるものである。



経常利益から特別損失265万1,995円を差し引いた、2,513万5,542円が当年度純利益であり、健全性は保たれている。富士山の世界文化遺産登録などの経済効果により、外国人観光客を含めた、石和温泉への宿泊者数の増加が見込まれ、給湯量の増加も期待される。将来に向けた新たな設備投資や既存設備の不測の事態に備え、引き続き着実な経営に努められたい。

## 2 財政状態について

平成26年度の財政状態は、自己資本構成比率が88.8%、固定資産対長期資本比率が59.7%、流動比率が2,114.9%と、いずれの比率も健全な水準を確保している。自己資本構成比率が88.8%と前年度に比べ、8.8ポイント低下しているが、これは新会計基準を適用したことにより、資本剰余金に整理してきた償却資産取得のための工事負担金等が負債である繰延収益に、賞与等引当金を負債に計上したことによるものである。

平成26年度末の温泉供給料未収金は3,234万9,435円で、固定資産の破産更正債権等に808万2,466円、流動資産の未収金に2,426万6,969円それぞれ計上しているが、このうち納期限を過ぎた温泉供給料金は1,965万2,345円であり、これまでもその解消に向けては、鋭意努力しているところではあるが、公営企業としての経営の健全性や公平負担の観点から、滞納者の状況を個々に把握し適切に対応していくなど未収金回収に向け、なお一層努力されたい。

## 3 キャッシュ・フローの状況について

平成26年度から作成が義務付けられたキャッシュ・フロー計算書の結果をみると、業務活動により確保した資金の増加は1,931万6,403円であり、投資活動として有形固定資産の取得に3,116万4,874円を支出、また、財務活動によるキャッシュ・フローは増減なしであり、当年度中の資金減少額は1,184万8,471円となっている。

平成26年度は分湯栓移設工事等による有形固定資産の取得があり、投資活動による支出が、業務活動による資金の増加の範囲を超えているが、温泉事業の経営は、現状借入金がなく、業務活動より確保した資金のほとんどを投資活動に活用できる状況にある。また、期末の資金残高は事業規模に対し十分に確保されていることから、財政の健全性が損なわれるほどではないといえる。

今後見込まれる給湯施設の改良等に計画的に取り組むため、キャッシュ・フローの適正な管理に努められたい。

## 4 経営課題について

平成26年度の総給湯量は83万2,945立方メートルで、過去10年間で最も給湯量が多かった平成17年度の98万51立方メートルに比べ15.0%減少している。平成26年度末の温泉供給契約口数は516口で平成17年度の555口に比べ39口減少している。

今後温泉事業の経営にあたっては、温泉の湧出量や給湯実績の状況を適切に把握した上で社会情勢や経済状態を見極め、減少した契約口数分の新規分譲を行うなどの将来に向けた投資を勘案した経営を進めるとともに、地元自治体や関係団体等と連携して、引き続き温泉資源の保護と地域振興に努められたい。

## (3) 平成26年度山梨県営地域振興事業会計

### 審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って運営されているものと認められる。

特に、平成26年度決算は、新会計基準が適用される初年度の決算であるため、年度当初に行われた新会計基準への移行処理は適正であるか、また、会計処理の基準及び手続きが新会計基準を適用しているか、という点に留意し審査するとともに、新会計基準の適用による決算への影響について、詳細に分析を行った。

なお、新会計基準を適用し、借入資本金の負債への計上、みなし償却制度の廃止及びキャッシュ・フロー計算書の作成などを行ったことにより、経営状況の透明性の確保が図られ、的確な財務情報を把握できるようになった。

会計基準見直しの趣旨は、地方公営企業の経営状況の透明性を確保することなどであるため、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の公表については、県民にわかりやすい情報の提供と、ていねいな説明を行うことが求められている。今後、決算概要の公表にあたっては、こうした趣旨が活かされるよう決算の分析内容を含め、資料の作成に配慮されたい。

## 1 利用者数について

平成16年4月から指定管理者制度の利用料金制を導入し、民間企業の参画を得て新たな経営・運営体制が発足した。10年が経過した平成26年度からは新たな指定管理者が選定され、施設の管理・運営を行っている。この間、施設全体の利用者数は、平成17年度をピークに漸次減少傾向にある。

平成26年度は、レストラン事業部の利用者数が前年度と比較して1,064人増加(2.3%)したものの、レジャー事業部の利用者数が7,446人減少(△5.8%)し、また、中核事業であるゴルフ事業部の利用者数も195人減少(△0.4%)した。その結果、施設全体の利用者数は6,577人減少(△3.0%)し、21万3,375人であった。

有料施設の利用者数については、計画と比較しても下回る状況が続いているため、今後も指定管理者と協力し、中核事業であるゴルフ事業部の利用者数の底上げに取り組みとともに、施設全体の利用者数の増加が図られるよう努められたい。

## 2 経営状況について

営業収益は指定管理者からの施設利用料等の1億5,000万2,603円であり、営業費用は減価償却費や借地料等の1億4,619万344円となった。この結果、営業利益は381万2,259円となり、営業利益は前年度と比較して3,062万9,761円増加している。

この増加要因は、収益面では、指定管理者からの施設利用料について、平成26年度は過去5年間実施していた減額措置を行わず、約定どおり納入されたこと、費用面では、耐用年数の経過により施設の減価償却費が減少したこと及び資産減耗費が減少したことによるものである。指定管理者からの施設利用料については、継続して安定的な確保に努められたい。

営業利益381万2,259円に営業外収益338万5,751円を加え、営業外費用66万6,810円を差し引いた経常利益は653万1,200円となり、当年度純利益も経常利益と同額となった。経常利益は前年度と比較して3,395万6,879円増加し、当年度純利益は前年度と比較して3,148万4,084円増加している。

営業外収益増加の主な要因は、新会計基準を適用したことにより、みなし償却制度が廃止され、資本剰余金に計上されていた受贈財産評価額について収益化が図られ、平成26年度の減価償却費に見合う金額を長期前受金戻入として計上したことによるものである。

平成26年度は、期間損益で黒字化が図られ、総収支比率は104.4%と前年度と比較して20.2ポイントの上昇、経常収支比率は104.4%と前年度と比較して21.8ポイントの上昇となっており、それぞれ改善している。しかしながら、過去から累積した当年度末処理欠損金は、35億2,556万6,702円と依然として多額である。今後とも純利益を安定的に確保し、累積欠損金を減少させるためにも、有料施設の利用増に向けた取り組みを図り、経営状況の改善に一層努力されたい。

## 3 財政状態について

平成26年度の財政状態を経営指標でみると、自己資本構成比率が△138.5%と前年度と比較して11.2ポイントの低下、固定資産対長期資本比率が102.3%と前年度と比較して3.4ポイントの上昇、流動比率が44.7%と前年度と比較して1,114.9ポイントの低下となっており、それぞれ悪化している。また、資本合計については、△34億9,311万1,171円となり、前年度の△3,709万2,236円と比較しても、債務超過額が大幅に増加している。

この財政状態悪化の主な要因は、新会計基準を適用したことにより、借入資本金を資本から負債に計上したこと、みなし償却制度の廃止に伴い、補助金等で取得した償却資産を資本から資産の減価償却累計額及び負債の長期前受金に計上したことによるものである。

また、電気事業会計からの長期借入金は、損益勘定留保資金による返済が行われているが、その残高は59億8,904万円余と依然として多額である。計画的な償還を行い残高の削減が着実に図られるよう努められたい。

#### 4 キャッシュ・フローの状況について

新会計基準を適用したことにより、平成26年度からキャッシュ・フロー計算書の作成が義務づけられ、資金繰りの状況等が明示されることとなった。

平成26年度の業務活動により確保した当年度純利益や減価償却費などの資金8,347万99円は、財務活動として電気事業会計からの長期借入金への返済に7,049万5,184円を支出、また、投資活動としてゴルフ場の散水設備取替などの有形固定資産の取得に478万8,311円を支出しており、平成26年度中の現金・預金の資金増加額は818万6,604円となっている。

業務活動により確保した資金の大部分は、借入金返済に充当されており、施設・設備の整備などの将来に向けた投資については、資金面で厳しい状況となっている。今後も修繕等の増加が見込まれることから、長期的な投資計画及び資金計画の検討に努められたい。

#### 5 経営課題について

地域振興事業の経営改善については、平成24年度の有識者によるあり方検討委員会の提言等を踏まえ、指定管理者制度を適正に運用し、安定的な施設利用料を確保していく中で、経費の削減に努め、平成30年度までの現行の指定管理者との指定期間内に、収益的収支の黒字化の定着を図り、累積欠損金の減少に努めるとともに、毎年度の業務活動により生じるキャッシュ・フローから長期借入金の計画的償還を目指すこととしている。

しかしながら、事業継続のためには、施設・設備の老朽化に伴う修繕費の増加が見込まれることから、これまで以上に厳しい経営状況、財政状態が続くものと予想される。

経営改善策の取り組みを進めるにあたっては、指定管理者の経営状況や地域振興事業の改善状況を継続して検証し、施設のあり方を含めた更なる改善策について様々な角度から検討を進め、適切に対応されたい。

発行者 山梨県 甲府市丸の内二丁目六番一号

印刷所 (株)サンニチ印刷 甲府市北口二丁目六番